

# CNA Report Japan

Conferencing News & Analysis-- Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・Web 会議専門ニュースレター 業界各社ビジネス展望 2003 年 4 月

創刊 1999 年 12 月 8 日 発行/編集: 橋本啓介 k@cna.jp Copyright 2003 Kay Office All rights reserved.

## 業界各社ビジネス展望

- NEC エンジニアリング株式会社
- TANDBERG 日本支社
- トーメンサイバービジネス株式会社
- 日本テレコム株式会社
- ポリコム株式会社
- プレミア コンファレンシング株式会社
- VTV ジャパン株式会社

### ■ NEC エンジニアリング株式会社 インターネットターミナル事業部 統括マネージャー 尾中 俊之氏



NEC エンジニアリングは、通信技術、コンピュータ技術、LSI 技術など広範囲な最先端の電子技術と、それらを統合するシステム技術をそなえた、NEC グループの技術開発の中核をなす会社の一つです。NEC では長年、高画質対応の画像 CODEC、音声 CODEC、エコーキャンセラの研究開発を行ってきました。

NEC エンジニアリングではこれらの技術を結集し、従来の価格体系を塗り変える低価格なテレビ会議システム MediaPoint IP (メディアポイント・アイピー) を 2002 年 12 月に発売開始しました。MediaPoint IP はブロードバンドネットワークの普及を追い風にテレビ会議の普及拡大を目指す戦略商品です。

MediaPoint IP は、ISDN 回線はもちろん、企業内 IP ネットワーク、FTTH、ADSL 回線に対応した、カメラ内蔵の小型、軽量、低価格 (278,000 円) で手軽さを訴求した商品であり年間 5,000 台を目標として拡販活動を行っております。

商品の特長としては①最新エコーキャンセラ技術によ

る高品質音声を実現②電動カメラ内蔵で、プリセット機能でスムーズなカメラワークが可能③外部カメラ接続で、より多数の会議利用が可能④必要書類は高画質の静止画送信⑤ハイエンド向け「TC5000EX100」の多地点会議機能と組み合わせれば最大4地点までの多地点会議システムが低価格で構築できます。

発売後、お客様からは IP 接続でのテレビ議システムのご要望が多く、ADSL を使った小規模テレビ会議システムから企業内ネットワークの構築に合わせた大規模な多地点会議システムまで幅広い導入事例が増えていきます。

この様に、NEC エンジニアリングでは、人と人をつなぐコミュニケーションをより容易な接続環境で実現するとともに、低価格な通信コストで利用できる環境の提供に向けブロードバンドネットワーク対応のオーディオ・ビデオネットワークシステムの開発販売に積極的に取り組んでおります。

### 【連絡先】

日本電気エンジニアリング株式会社  
インターネットターミナル事業部 営業部 植山氏  
TEL.044-435-9683  
<http://www.nec-eng.com/>

### ■ TANDBERG 日本支社 マーケティング・マネージャー 小田長子氏



TANDBERG (タンバーク) Telecom AS は 1978 年にテレビ会議システムの専業メーカーとし

てノルウェーで設(写真左から2番目が小田氏)立いたしました。日本には2001年7月に駐日代表事務所を設立し、2002年7月には日本支社として登記いたしました。今年で3年目を迎えますが、まだまだTANDBERGのことも弊社の製品についても十分お知らせできていないのが現状です。本年度は販売代理店と協力してセミナーを開催したり、展示会に出展したりして会社としてのTANDBERGをよりよく知っていただき、また実際に製品を触れたり、使える機会を増やしていきたいと思っております。

ではなぜいま TANDBERG なのか？弊社製品は、まず第一にIP化という時代に即したテレビ会議システムを提供しているということです。最近では政府のE-Japan構想に沿って国内の通信インフラが高帯域のIP網に整備されつつあります。これに応えるためテレビ会議システムのIP化が加速されています。

TANDBERGはCisco Systems, Inc.と提携し、技術的にも迅速に対応できるよう研究・開発体制をとっております。TANDBERGはIPLR(TF)など、ブロードバンド時代の安定したIP通信に最適な技術を提供します。

また、さまざまな分野でセキュリティの重要性が問われています。昨今、テレビ会議もその例外ではありません。安全な環境でテレビ会議を行っていただけるよう、TANDBERGの製品はすべて暗号化通信機能を標準で内蔵しており、堅牢なセキュリティを提供しています。ISDN、IP、両方混在の場合でも、さらに多地点接続時にも対応しています。通信の遅延やTANDBERG独自のプレゼンテーション機能を損なうことなく、安心してテレビ会議に集中していただけます。

さらに、TANDBERGはオフィスにおけるトータルソリューションを踏まえたテレビ会議システムのご提案(TANDBERG Solution)を重視しています。例えば、他社の製品との相互接続性やモニタリング・管理ソフトウェアをはじめとする製品のマルチベンダサポートなどがありますが、お客様は現在すでにお持ちの資産を活かしながらTANDBERGをお使いいただけるという利点があります。

2002年度7月-9月期からはグローバルの売上シェア

ではNo. 1となりましたが、日本ではまだまだこれからです。今後はTANDBERGのことをそして製品のことを知っていただけるような機会をできるだけ多く作っていきたく思っております。Simplicity・Quality・Value(簡単・きれい・安心)をモットーにしております、TANDBERGの製品を実際にお手にとってご覧いただきたいと思っております。ぜひ弊社オフィスまたは弊社正規販売代理店までお気軽にご連絡下さい。よろしくお願いたします。

#### 【連絡先】

TANDBERG 日本支社

Tel: 03-5623-0396

<http://www.tandbergjapan.com/>

#### ■ トーメンサイバービジネス株式会社 インターネットプロダクツ事業本部長 取締役 鈴木 敦久氏



トーメンサイバービジネスでは4年以上前から、複数拠点を結びビデオ会議を行う、多地点ビデオ会議ソフトウェア

を販売しております。

これまでには主に海外製品を日本語化し販売してきましたが、拡大する市場の多様なニーズに応えるべく、IPネットワーク上の多地点ビデオ会議ソフトウェアを自社にて開発、製品化を行いました。6月より販売開始予定です。

この製品は、通信プロトコルにITU-T準拠であるH.323、T.120を採用しているため、一般的に普及しているビデオ会議端末との接続ができオープンなシステムを構築することができます。

ビデオ会議としては、独自プロトコルを採用した製品がいくつか販売されていますが、当社では、ネットワーク

の保守の観点からも国際規格である ITU-T 準拠であることが重要であると考え、H.323、T.120 を採用いたしました。

製品ブランド名は「Visual Nexus」(読み方:ビジュアル ネクサス)で、上記のオープンスタンダードへの適合の他に、次の様な特長を持っています。

①高品質の映像・音声/会議参加者によるデータ(文書)共有ビジネスユースに十分耐え得る映像・音声・データ共有の品質です。フランステレコム R&D の最新技術 eConf テクノロジーを採用しています。②優れたスケーラビリティ--多地点会議ユニット(MCU)は、マルチプロセッサをサポートし、優れたスケーラビリティを実現しています。③高いカスタマイズ性--画面のカスタマイズや、XML ベースの豊富な API を利用し、特定業務に合わせたアプリケーションの構築等が可能です。

ターゲット市場は企業、特に製造、流通、サービス業です。また、当社が既に強みを持っている文教や自治体市場も対象となります。なお、今年度は販売開始後(6月を予定)2億4千万円、来年度は5億円を売上目標としています。

#### 【連絡先】

トーマンサイバービジネス株式会社  
インターネットプロダクツ事業本部  
TEL.03-5715-0820  
<http://www.tomen-g.co.jp>

#### ■日本テレコム株式会社

法人事業本部マーケティング戦略推進部  
田中 光太郎氏



日本テレコムはネットワークコラボレーションサービス「Synchronet(シンクロネット)」に、ISDN を利用した「TVミーティング」、予約のいらない電話会議「でんわミーティン

グ」、WEB ブラウザ上での「Web コラボレーション」の各種メニューを取り揃え、お客様のご利用シーン、ご要望に併せ最適なご提案をさせていただきます。

「TVミーティング」はお客様の専用機器を利用し、全国一律 88 円/3 分(通信費込み 128K接続の場合)でお安く多拠点接続TV会議が可能です。

「でんわミーティング」も同じく全国一律 88 円/3 分(通信費込み)でお安く、また会議のご予約をいただくことなくいつでもご利用いただける予約不要型電話会議をご提供します。

また、「Web コラボレーション」はピアツーピア型アーキテクチャを採用し、自らの利用環境に合わせた帯域制御を可能とする「受信側での帯域制御機能」などで高品質なWeb 会議を実現します。

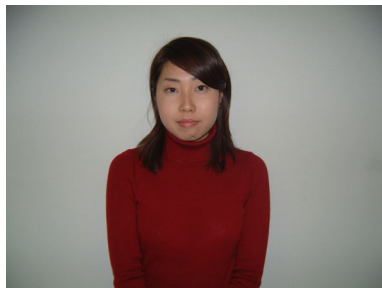
「TVミーティング」「でんわミーティング」は 2002 年 2 月から、「Web コラボレーション」は本年2月からご提供開始し、お客様からのお問い合わせ、ご要望は増加しており、導入されたお客様からの社内展開についてのご相談も多くなっています。特に製造業、製薬業、外資系企業を中心にお問い合わせが多く、どのお客様も低コストで高い生産性と業務効率化の実現手段を求められておられます。

今年度はまずはお客様のご要望を実現するために最適な手段、ツールを、弊社のネットワークサービスと併せて日本のマーケットにご紹介することを重点としたプロモーション展開を計画しています。

<http://www.japan-telecom.co.jp/>

#### ■プレミア コンファレンシング株式会社

広報担当 権野 歩氏



弊社、プレミアコンファレンシングは、1984 年に米国にて創立し、世界 9 拠点に営業所を構えるグローバルコミュニケーションプロバイダーです。取引企業は世界で約 7 万社になります。

弊社、プレミアコンファレンシングは、1984 年に米国にて創立し、世界 9 拠点に営業所を構えるグローバルコミュニケーションプロバイダーです。取引企業は世界で約 7 万社になります。



弊社が提供する代表的な電話会議サービスの特長が予約なし電話会議(ReadyConference)です。登録料、月額料金が一切なく、登録時のパスコードを使って24時間いつでも予約無しで会議を始めることができます。完全にバイリンガルでサポートしているため、あらゆるユーザーにご利用いただいています。その他にも様々な会議に対応できる多機能のサービスを提供しております。

弊社の国内の電話会議サービスは、2000年にエクスパダイト株式会社の一事業部としてサービスを開始し、2002年にはプレミアコンファレンシング株式会社を設立、ReadyConferenceに加え、オペレーターアシスト会議(Premiere Call Auditorium)とインターネット会議(ReadyCast)のリリースを行いました。幅広い会議ソリューションを提供する会議プロバイダーとして、著しい成長を遂げています。

今後は、2003年5月頃にPremiere Call Auditoriumの日本ブリッジでのサービス開始を予定し、決算発表会などの大規模会議の利用ニーズに応えます。また、音声とWebとのコラボレーションを強化する新たなデータ会議サービスのリリースも予定しています。

近年の日本経済不況やテロの影響で経費削減やタイムマネジメントの一貫として、急速に日本で電話会議市場が成長していると捉えています。外資系企業に加えて今後は日本企業への開拓に着目していきたいと考えております。

#### 【連絡先】

プレミアコンファレンシング株式会社 広報担当  
TEL: 03-4560-9610  
<http://www.premconf.co.jp>

#### ■ ポリコム株式会社

日本地区担当ディレクター代理 奥田 智巳氏

ポリコム株式会社は1999年6月に米国ポリコム社の100%子会社として設立されました。米国ポリコム社は

1990年にカリフォルニアで設立され、音声会議システムの開発、販売から業務をスタート。その後テレビ会議システムViewStationを1996年に発売し、急速に成長しました。2000年にはアコードネットワークス社、2001年にはピクチャーテル社を買収。遠隔コミュニケーション端末だけでなく、多地点接続ブリッジ、ネットワーク機器、管理用ソフトウェア等、数多くの製品をリリースしています。

発売開始以来ベストセラーとなった音声会議システムSoundStation、テレビ会議システムViewStationの2製品をはじめ、PC型グループTV会議システムiPowerやマルチメディア・カンファレンス・サーバーのMGCシリーズ等、端末から端末までのトータルソリューションを顧客に提供できることがポリコムの最大の強みです。

「Polycom Office」と名づけられたこのソリューションは、顧客に対し、通話互換性の問題からの開放、管理の容易性、複数のインフラ、メディア混在のシステム構築等、いままでの端末導入だけでは得られなかったベネフィットを提供します。

1999年6月に設立されたポリコム株式会社はその後急速に、かつ順調に業績を伸ばしています。この業績好調の背景には、いち早くローカライズに取り組んだこと、強力な販売代理店網を形成したこと等、いくつかの要因が考えられます。

今年度は、顧客サービスの強化、代理店サポートの強化、より迅速な新製品の導入を行います。特に顧客サービスの強化は重要な課題です。顧客登録制度や代理店認定制度の導入により、ポリコム株式会社から提供されるサービス、代理店から提供されるサービスの強化を図ります。また、今後はさらに製品ラインの拡充を図るとともに、顧客に対するサービス&サポート力の強化に取り組んでいきます。

最近はコンシューマ市場を対象に、ブロードバンドの急速な低価格化が進みました。それに伴いコマーシャル市場にも安価なブロードバンドサービスの提供が始まっています。しかしながら現状は、安価という点にのみ注目が集まっており、ミッションクリティカルなアプリケーション

に対応できるシステム構築時に必要な QoS やルーティング、ファイアーウォール超えソリューションの構築等、本当に重要なポイントにはなかなか目が行き届いていません。弊社では IP 化への動きは大歓迎ですが、それと同時に顧客が本当に必要なソリューションやシステム構築のノウハウを、安価という点にだけこだわらず提供していきます。

#### 【連絡先】

ポリコム株式会社

TEL.03-5421-3636

<http://www.polycom.co.jp>

#### ■ VTV ジャパン株式会社

代表取締役 栢野 正典氏



(2002 年度 TANDBERG ベストパートナー賞授賞式)

写真左が栢野氏

VTV ジャパンは、平成 7 年に設立され、今年で 9 年目を迎えます。当初、販売と貸 TV 会議室運営を主業務としておりましたが、お客様のニーズに答える形でレンタル、接続サービスの業務をスタートさせ。現在では、テレビ会議を必要としているお客様のあらゆるニーズに答えることを目標に、システムインテグレート、TV 会議室レンタル、システムレンタル、メンテサービスを 4 本柱として、ビジネスを営んでおります。その間、市場の成長、製品の進歩を見つめつつ、その変化とともに歩んできましたが、今年はいよいよ第三幕が切って落とされた感を強めております。

PictureTel、CLI といった業界の礎を担った、今はなき

メーカーの活躍した第一幕。FORTUNE50,100 といったグローバル企業がメインターゲットとされ、大型で価格も高価であった、ルーム型コーデックの全盛期。

その後、テレビ会議を手軽なものとするべく一気にダウンサイジングが進められ、結果としてユーザー層を広げることに成功した第二幕。SwiftSite によって新たなカテゴリとして認知され、更に POLYCOM ViewStation によってユーザーを増やしていった、セットトップタイプの全盛期。

そして、ここ数年のブロードバンド化による第三幕の幕開け。弊社にて、導入検討をいただいているお客様も昨年は、一般的にはブロードバンドの到来と言われていたにも関わらず、実際には 6 対 4 の割合で ISDN でのお客様の方が多かったのが、今年は一気に 2 対 8 で IP のお客様の方が増えています。

それに伴い、テレビ会議システムを提案する側のスキルがよりシビアに求められていることを痛感しています。弊社でもよりネットワークにマッチしたシステムのインテグレートをもっとに日々ノウハウの習得に努めています。IP ネットワークと大括りに言っても、専用線からインターネットまで「品質、コスト、安定性」のレベルはネットワークによって様々。

今後、セキュリティーや社外との相互接続を考えると、どのような形態で発展していくのか。導入されたお客様が、テレビ会議のポテンシャルをフルに引き出せるよう、動向を常にチェックし、お客様への提案に盛り込んでいきたいと考えています。

#### 【連絡先】

VTV ジャパン株式会社

TEL 03-5573-4043

<http://www.vtv.co.jp>

---

CNA Report 編集長 橋本 啓介 k@cna.jp

(CNA Report 業界各社ビジネス展望)